

東奥日報

2023年(令和5年)12月6日(水曜日) (14)

八工大 2年連続準優勝

八
戸

ETロボコン全国大会・初級

八戸工業大学工学部工学科システム情報工学コースの山口広行准教授の研究室チームが、11月16日に横浜市で開かれた「ETロボコン全国大会」の初級クラスで、2年連続の準優勝を達成した。メンバーの柴田遥成さんと岩渕昭人さん(ともに4年)は「まさか準優勝できるとは」「楽しくていい経験になった」と喜びを語る。(相澤賢介)

大会は「組込みシステム技術協会」(東京)が主催。各チームは二輪ロボットに搭載するソフトウェアを設計、カーブや障害物があるコース2種類に1回ずつロボットを走らせ、ゴールまでのタイムを競った。習熟度別に三つのクラスに分かれ、このうち初級クラスには地区大会を勝ち抜いた企業、大学などから30チームが出場した。全国大会初出場だった柴田さんと岩渕さんは、4月からシミュレーターを使って準備を始め、8月中旬からは実際のロボットを使って動きを確認した。シミュレーター上と実際のロボットで動きが微妙に異なり苦労もあったが、想定通りに動くまで試行錯誤を繰り返したという。本番では、トラブルでゴールできないチームが多い中、2人のロボットはスムーズな動きで2回とも完璧に走りきった。

柴田さんは「チームごとに(コースの)攻略方法が変わるので勉強になった。グループで連携して一つのプログラムを作る経験は今後に生きる」、岩渕さんは「優勝まであと一歩だったので悔しさも残る。来年は、後輩たちに頑張ってもらいたい」と話した。



ETロボコン全国大会の初級クラスで準優勝した(左から)柴田さん、岩渕さん、山口准教授

※「この画像は該当ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」